

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 37 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 令和 6 年 12 月 25 日 (水) 13 : 30～14 : 35
2. 実施場所 : Webex 利用 通信会議
3. 出席者 : (敬称略)
(出席委員) 浅見 (副主査), 海老原 (幹事), 坂本, 木倉, 島, 山田, 村松, 溝渕, 影山,
市橋, 清水, 吉田, 山岡 (13 名)
(代理出席委員) なし (0 名)
(欠席委員) 道券 (1 名)
(常時参加者) 高田, 広瀬, 高橋 (秀), 高橋 (純), 樋口, 菊池 (6 名)
(欠席常時参加者) 南波 (1 名)
(オブザーバー) 平沼 (1 名)

4. 資 料

	第 37 回輸送容器分科会議事次第
F3SC37-1	第 36 回 輸送容器分科会議事録 (案)
F3SC37-2	(資料なし)
F3SC37-3-1	輸送容器分科会 作業会の作業状況について
F3SC37-3-2	標準改定に係るアンケート回答と改定対応方針案
F3SC37-3-3	標準附属書改定案対比表
F3SC37-4	標準策定 5 か年計画 (2025 年度版) (案)

〈参考〉

F3SC37-参考-1 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会 輸送容器分科会 (F 3 S C) 委員
一覧

5. 概 要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 37 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され、役員の選任による権限付与が行われた。また、「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」改定に係る作業会の作業状況及び標準作成 5 か年計画の更新内容について議論を行った。

6. 内 容

14 名の委員中、13 名の委員の出席があり、分科会成立に必要な委員数(10 名以上)を満足している旨の報告があった。

(1) 前回議事録 (F3SC37-1)

幹事より前回議事録の内容が説明され、承認された。

(2) 人事について【審議】

互選の結果、坂本委員が主査として選任された。また、浅見委員が副主査に、海老原委員が幹事に指名された。

(3) 作業会の作業状況【報告】 (F3SC37-3-1)

作業会主査（影山委員）より作業会の作業状況が報告された。

(4) 標準改定案について【審議】 (F3SC37-3-2, F3SC37-3-3)

作業会主査（影山委員）より標準改定案のうち、附属書 BB, BD, BF, BG, BI 及び BJ 改定案についての説明が行われた。主な確認事項は以下のとおり。

- ・ 標準改定案に対するコメント（気付き事項を含む）があれば、1 月 15 日までに全委員に連絡する。
- ・ 幹事より、JIS Z 4001「原子力用語」が廃止されることが周知された。

(5) 標準策定 5 か年計画の更新について【審議】 (F3SC37-4)

幹事より、作業会での作業進捗を反映する形で 5 か年計画の改定内容の説明が行われ、了承された。

(6) その他

- ・ 次回の輸送容器分科会（第 38 回）は令和 7 年（2025 年）4 月 15 日の 15 時から開催する予定となった。
- ・ 主査より、2025 年 1 月 23 日に放射線工学部会主催、遮蔽線遮蔽分科会と廃止措置分科会共催で放射線遮蔽設計法に係るワークショップが開催される説明があった。幹事が輸送容器の安全解析について発表を行う予定。

以 上